

子育てをするなら
鹿児島市

子育て
ガイド

内=内容 対=対象
期=日時・期間・期日 所=場所
定=定員・定数・人員 料=料金
申=申し込み 問=問い合わせ
FAX=FAX E=Eメール
共=共通事項

お知らせ・相談

母子・父子家庭などへの医療費助成
対母子・父子家庭の児童とその親、父母がいない児童 ※児童は18歳になる日以後の最初の3月31日までの人か一定の障害のある20歳未満の人(所得制限あり) 問こども福祉課216-1261(FAX216-1284)、各支所の福祉課・保健福祉課

こども医療費助成
対市内に住む小学6年生までの子ども(所得制限なし) ◇助成額…保険診療による一部負担額に対し、0歳～3歳未満の子どもは全額、3歳～小学6年生の子どもは1カ月2000円を控除した額 ※市民税非課税世帯は全額 ◇受給者証を持っていない人は申請手続きが必要 問こども福祉課216-1261(FAX216-1284)、各支所の福祉課・保健福祉課

ひとり親家庭等日常生活支援事業
内修学、病気などで一時的に子育て支援や介護が必要なとき、家庭生活支援員を派遣します

対ひとり親家庭や寡婦 ※事前に登録が必要 ◇利用料金など詳しくは市母子寡婦福祉会事務局223-4951へ

ひとり親家庭等生活支援講習会
内育児や健康管理など生活支援講習会の開催 対ひとり親家庭や寡婦 ※託児サービスあり 料無料 ◇実施時期、会場、申込方法など詳しくは市母子寡婦福祉会事務局223-4951へ

育児支援家庭訪問事業
◇支援員が家庭訪問を行い、相談などに応じます ※支援を受けるためには申請が必要 対おおむね1歳未満の児童を養育中で、育児に不安を抱えている人 問こども福祉課216-1260(FAX216-1284)

保育所、認定こども園の整備の募集
内保育所等の施設整備を行う事業者の募集 ◇申込方法など詳しくは保育課216-1223か市ホームページへ

乳児の粉ミルクを支給します
内1人1カ月当たり調製粉乳を小2缶支給 対多胎児と所得税非課税世帯が現在無職無収入の世帯で母親がHTLV-1抗体陽性か栄養強化が必要な乳児 期1歳の誕生日を迎える月まで 問各保健センターか各支所の保健福祉課

麻しん・風しんの予防接種
◇接種対象

第1期	生後12カ月以上24カ月未満の間
第2期	平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの人(来年3月31日まで)

◇接種場所…委託医療機関
※期限を過ぎると自己負担での任意接種になります。体調がよいときにできるだけ早く接種しましょう 問保健予防課258-2358(FAX258-2392)



乳幼児相談窓口
◇保健師や心理相談員が子育て相談や保健福祉サービスなどの情報を提供します 期毎週月～金曜日8時30分～17時15分(休日を除く) 問母子保健課216-1485(FAX216-1284)



イベント・講座

育児教室
内子どもの病気や発育、しつけ、離乳食など 対昨年8月以降に生まれた、初めての子どもを持つ親とその家族 期6月1日～15日の毎週月曜日13時30分～15時30分(全3回) 所松元地区保健センター 定20組(先着順) 料無料 申電話で5月13日から松元保健福祉課278-5417(FAX278-4189)へ

ファミリーアドベンチャーIN冒険ランドいおうじま
内野外炊飯活動、露天風呂、クルージング体験など 対市内に住む小・中学生とその家族

期7月4日(土)・5日(日)
※1泊2日 ◇事前説明会…6月24日(水)19時～ 所冒険ランドいおうじま(三島村) 定12組(超えたら抽選) 料大人7200円、小学生以下3600円(団体割引あり。食材費などは実費負担) 申はがきに郵便番号、住所、参加者全員の氏名、年齢、性別、子どもの学校名・学年、電話番号を書いて、6月2日(必着)までに〒892-0816山下町6-1青少年課「ファミリーアドベンチャー」係227-1971(FAX227-1923)へ

サマーボランティア体験
内福祉施設でのボランティア体験 対市内に住むか通学する小学生～大学生 期7月21日(火)～8月31日(月)の1日～3日程度 所市内の福祉施設 定各施設の募集人数 料無料(交通費・昼食代などは自己負担) 申直接所定の申込書を5月22日から6月12日までに希望する福祉施設に提出 問市社会福祉協議会ボランティアセンター221-6072(FAX221-6075)



ファミリー・サポート・センター会員募集

子育ての援助がほしい人(依頼会員)と援助ができる人(提供会員)が会員登録をし、育児や家事の相互援助活動を行っています。

①提供会員講習会・家事支援登録会
対市内に住む人 期5月28日(木)9時～16時45分 所かごしま市民福祉プラザ
②依頼会員講習会(育児のみ。家事援助の希望者は別に講習会を行います)
対市内に住むか通勤する3カ月～18歳の子どもを待つ親 期偶数月は第1土曜日10時30分～11時30分、第3火曜日13時30分～14時30分 奇数月は第2日曜日10時30分～11時30分、第4木曜日13時30分～14時30分 所東部親子つどいの広場「なかまっち」
①②共 料無料 申電話でファミリー・サポート・センター226-7855へ



子育て相談室

問すこやか子育て交流館(りぼんかん)
相談ダイヤル 812-7741

Q

3歳の女の子です。4月から幼稚園に通いはじめました。お友達や先生と楽しく過ごしているようですが、最近、休み明けなどには登園をしぶることがあります。これから連休が続くので、また登園をしぶったとき、どう接してあげればよいでしょうか。

A

5月は、新しい環境に慣れるのに疲れが出てくる時期です。問いたただすのではなく、ゆったりした雰囲気、登園をしぶる理由を聞いてみましょう。うまく話せるときもあれば、話せないときもあるでしょうが、話したことをそのまま受け止めてあげましょう。子どもは親に受け止めてもらえたことで安心できます。また、新しい環境に慣れようと頑張っていることをほめてあげましょう。そして、幼稚園に行けばもっと楽しいことがあると思えるようなお話をしてあげましょう。もし、登園をしぶるのが深刻な理由のときや長引くときは、幼稚園の先生に相談してみてください。